

最強ウイッチ

が

雑魚

モンスター達に

敗北

する話

2

ようやく
永きに渡る
眠りから覚めた…

我は世界を
喚らうもの

この世界の終わり
そのもの

矮小な人間よ
汝は何故
我の前に立つ？

仕方なくアンタを
倒しに来たのよ

まあまあ報酬の良い
依頼だね

熟練冒険者
ウィッチさん

笑止！

いかなる刃も
魔法も

我を傷つけることは
適わない

所詮
人間の力など

いくつ寄せ集めたところで
何も変わらぬ

我を屠るは
理を覆す事と同じ

フフフ...

それこそ宙々の
星でも墮とすような
ものでも無ければ...

えい

メテオ

ギニャ

図体デカいだけで
大した事無かったわね

…ん？

あれは…
タマゴ？

こいつが
産んだものかしら

鵜化したら
面倒だし

ここで壊した方が
よさそうね

なにこれっ!?



周りが歪んで…

頭に…
へんな記憶が
入って来るっ…!!

時空のタマゴ

世界を喰らう龍は
時空を超えてあらゆる世界を渡り歩く

一定数の世界を喰らったのち、全ての情報を
内包したものをタマゴの形で産み落とす

そして
別の時空の自身が辿る
運命を

彼女は識る
事となる――

最強ウィッチが雑魚モンスター達に

敗北する話2



ウィッチさん

本作の主人公。28歳(独身)
最強の冒険者とも言われ、ギルドからの信頼も厚い。

基本的にパーティーを組まずソロで活動しているが、
これはほとんどの冒険者が彼女の戦いに付いて来れず足手まといになるため、一人が最も効率が良いと判断したためである。

最近の悩みは、なかなか欲求不満を解消できる機会が無い事。
本人は気付いていないが、刺激を求めるあまり、めちゃくちゃに犯されて
みたいという願望を密かに秘めている。

暗くなって
きたわね

今日はこの辺りで
野宿かな…

#1
植物モンスターの養分にされて
負けちゃウイッチさん

…?

甘い香り…

ホワ

ホワ…

近くにハーブでも
群生してるの
かしら?

…休むと
決めたら…

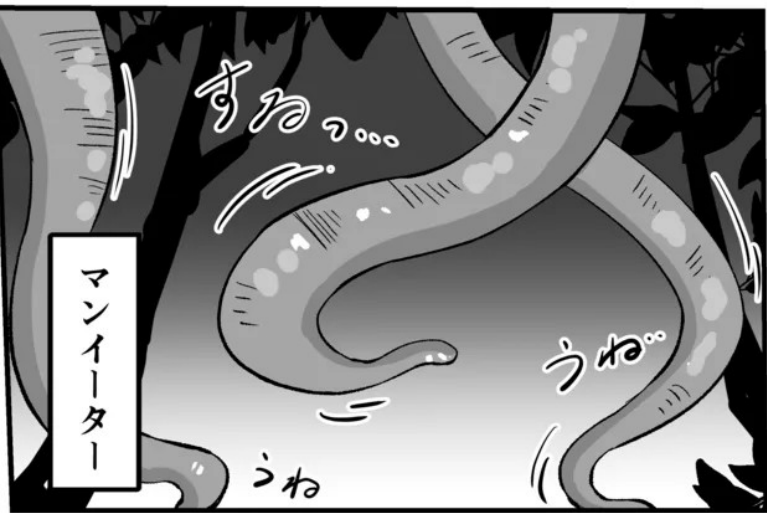
なんだか急に
眠くなつて
きたわね…

寝る…前に…

防護…結界…を…

…ん…

ドサッ



ん…

はち

これは…

どうなってるの…？

ギチ

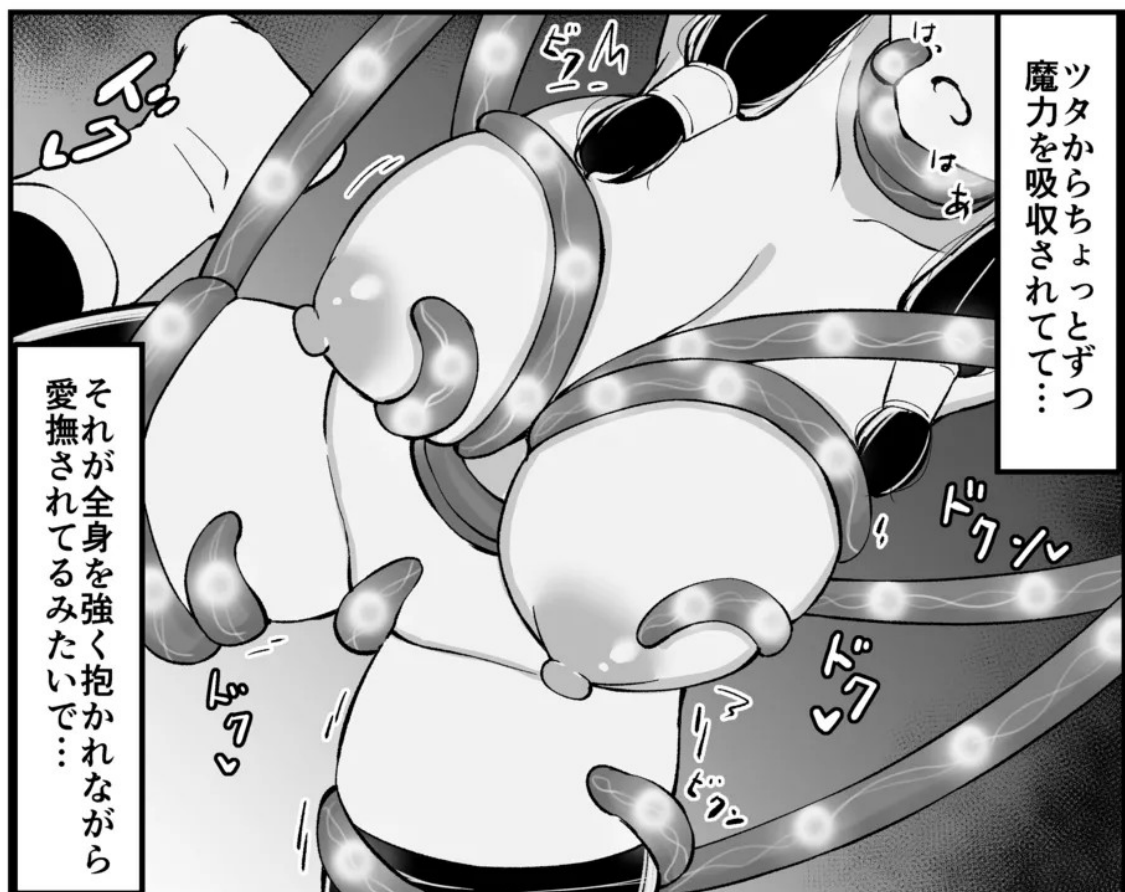
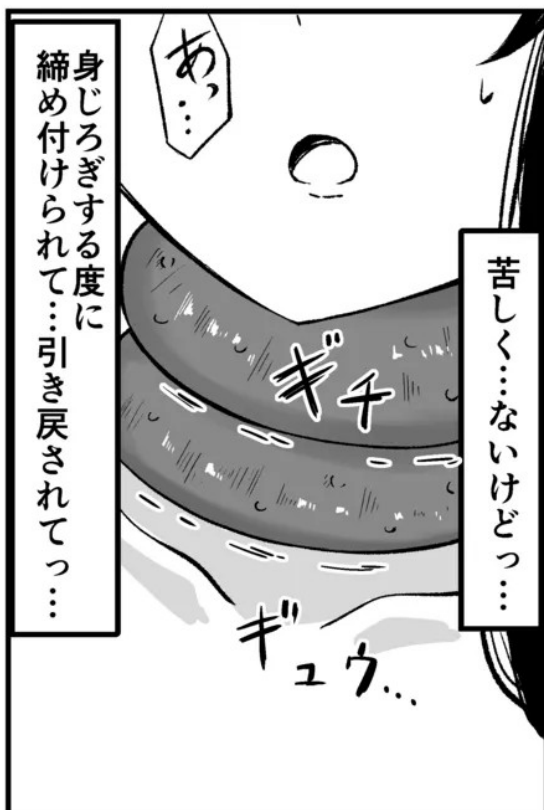
ギチ

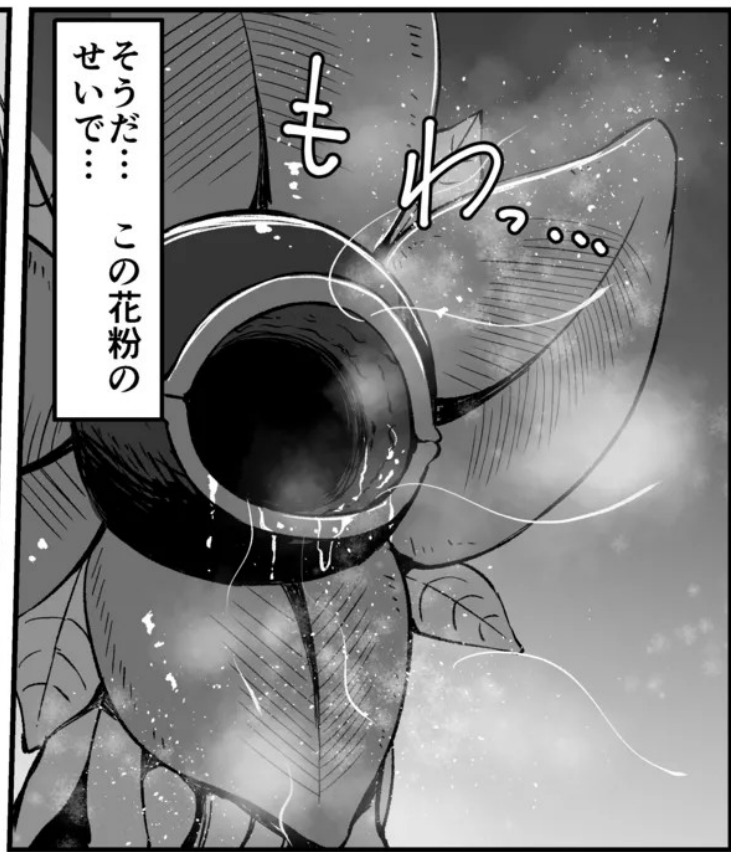
ツタ…？

なんで…私…

拘束…されて…









あ…すごい…

ぱ

あ

これ…
絶対ヤバイ…

あ

あ

あ

おっぱい食べちゃう
形してる…



食べられちゃっても

仕方ないよね…♡

あ

あ

あ

く

ぱ



でも拘束されて
抵抗できないから…

あ

あ

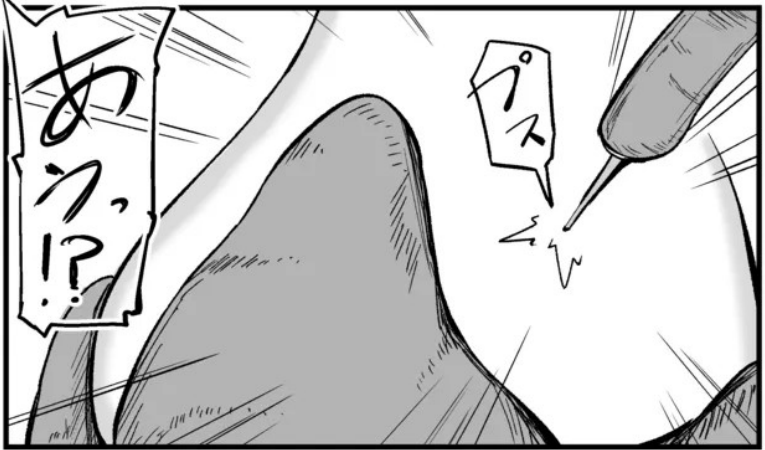
あ

あ

おっぱい包み込まれて…

ちくび…いっぱい
弄られて…

こんなの気持ち
良すぎるっ…♡







なにこれっ…

おっぱいから
何か出て…っ

魔力…だけじゃないっ

まさか…母乳…!?

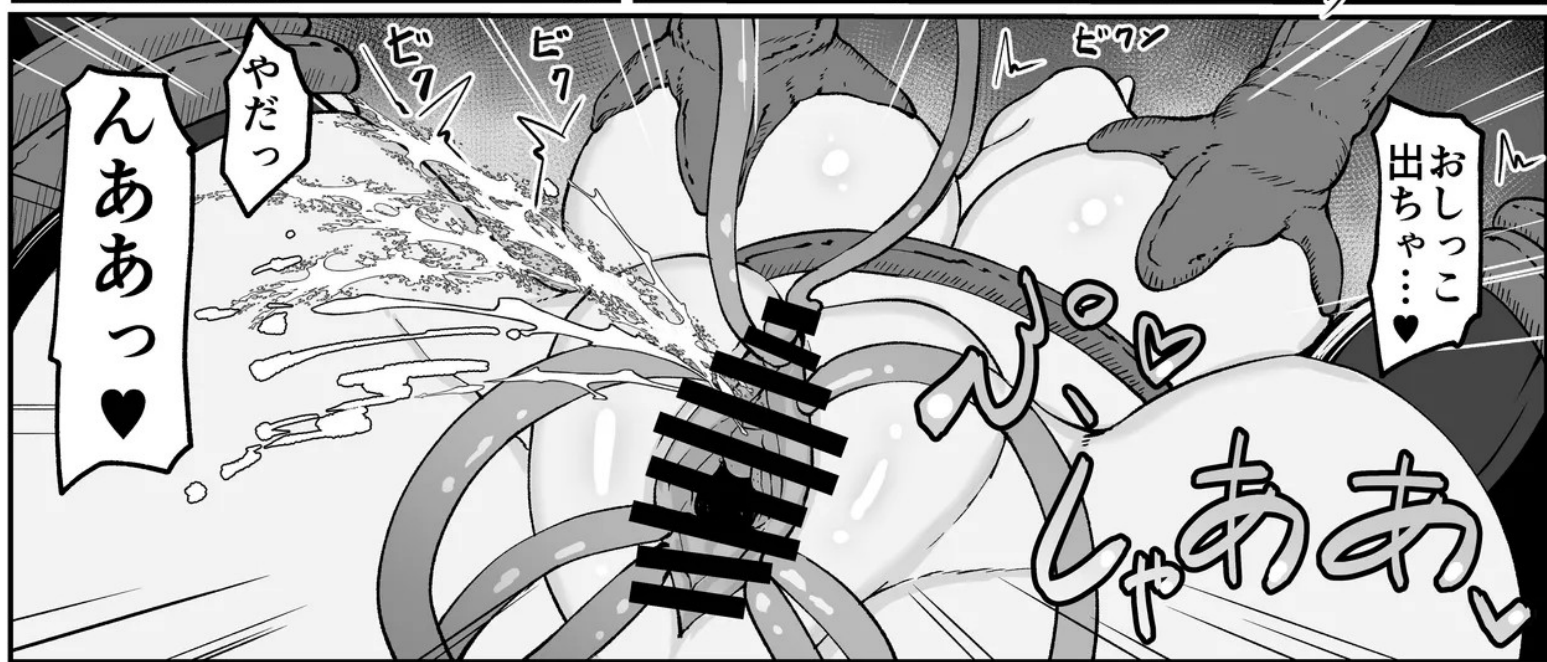
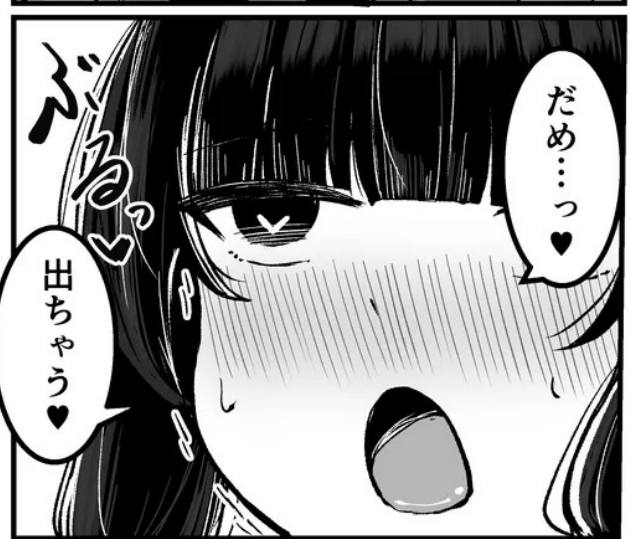


こんなのまるで…
私がママみたいじゃないっ…♡

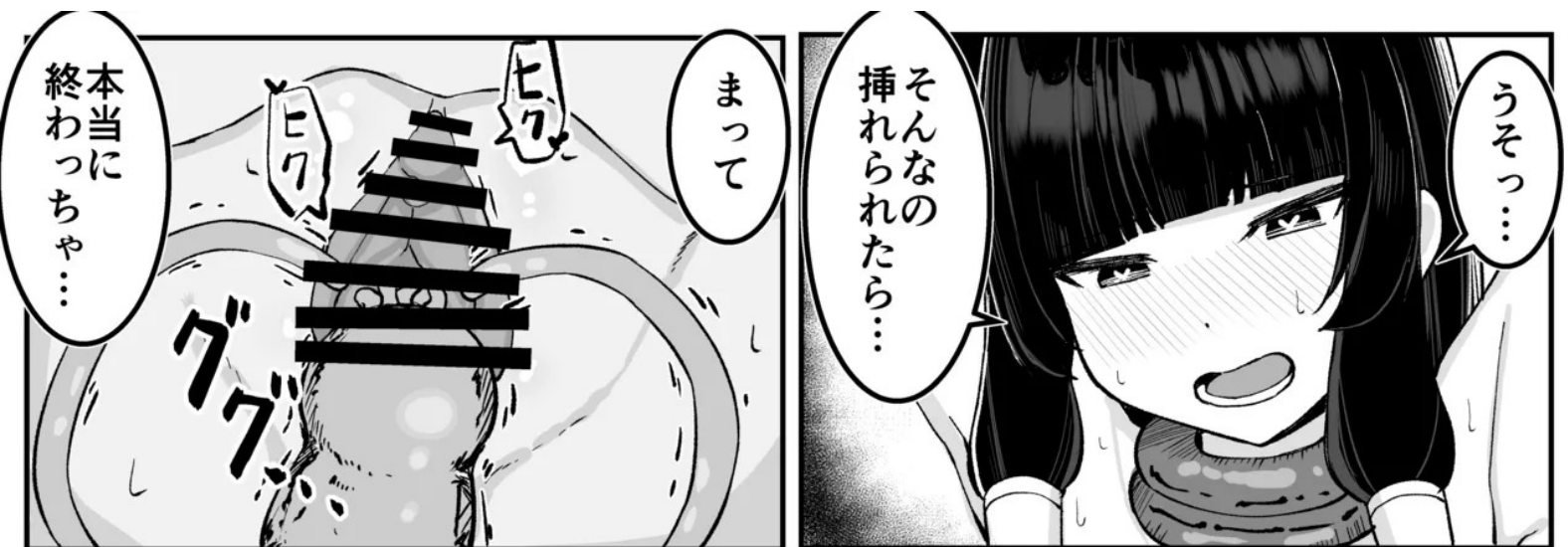


魔力も母乳も…ぜんぶ…
栄養にされちゃってる…♡

んんんっ…♡









あっ♡

これもうっ♡

私っ 負けてっ♡

あっ♡

もう負けてる
からあっ♡

ん♡
にゃあ♡

バチュン♡



バチュン♡

デッ
ン
デッ

はっ♡

はっ♡

あんっ♡

あっ♡

あ♡

あっ♡

許してっ♡

あんっ♡

じゅる♡

じゅる♡

ぶるん♡

ぶるん♡

デッ

デッ



ゴクッ

捕食された獲物はまどろみの様な心地よさと快楽を前に、
為す術もなく養分となるのみである…



マンイーターは最終的に得物を体内に取り込み、
じつくり時間を掛けて魔力や体液を吸い尽くす



アアアア



オオオオ...



逃がさないわ



ゴースト...!!

憑りついた冒険者から
離れなさい

#2
ゴーストに身体を乗っ取られて
負けちゃうウィッチさん

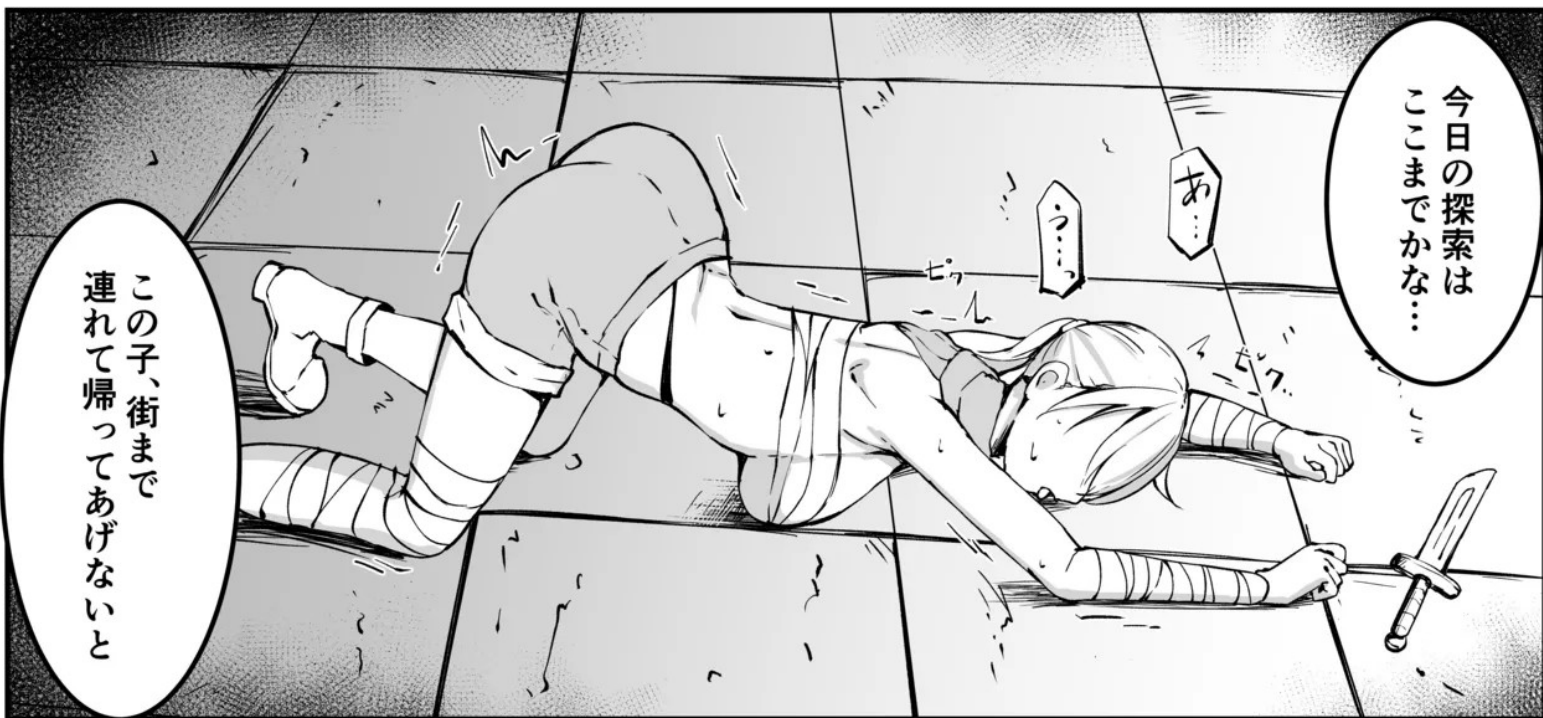


アンデッドと間違えて
生身の体ごと吹き飛ばす
ところだったわ…

あぶない…



ふう…
ゴーストに憑りつかれた
冒険者だったのね



今日の探索は
ここまでかな…

この子、街まで
連れて帰ってあげないと



今
なにか…?

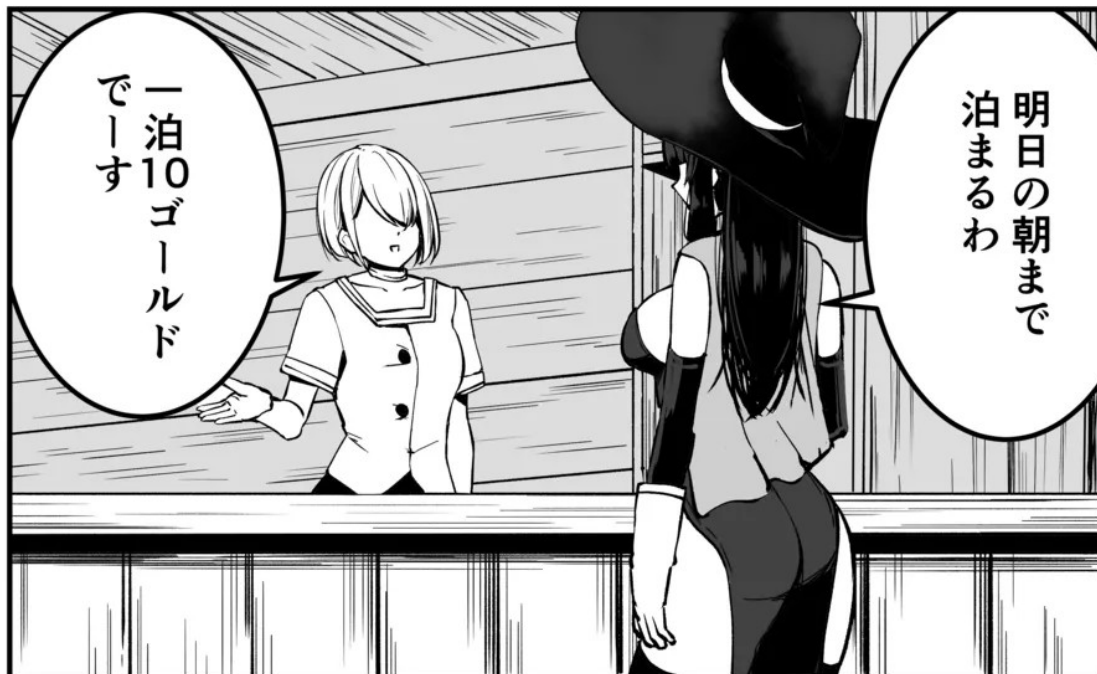
気のせいかしら



…?



幸い、まだそこまで
生命力は吸われていない
みたいね…



ゴースト

人間に憑依すると
意識を乗っ取り、身体を操る



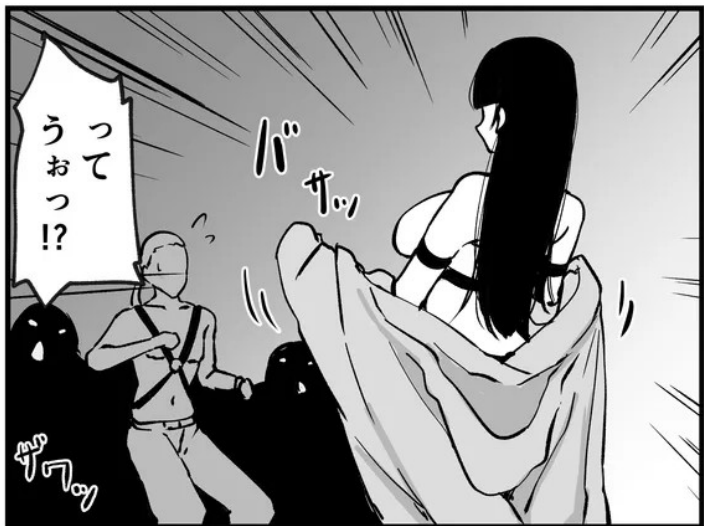
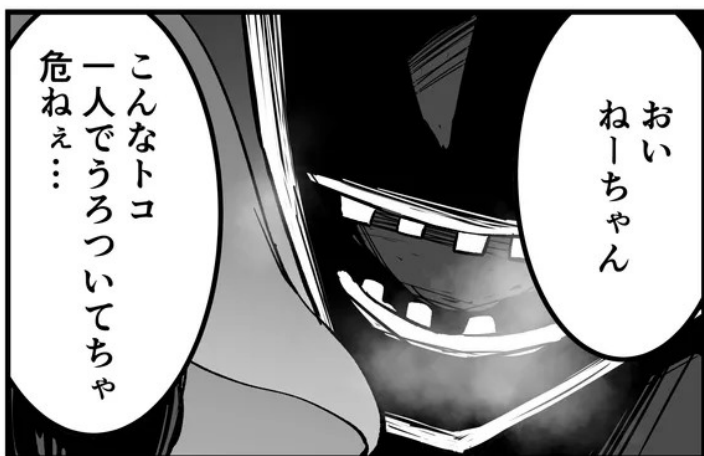
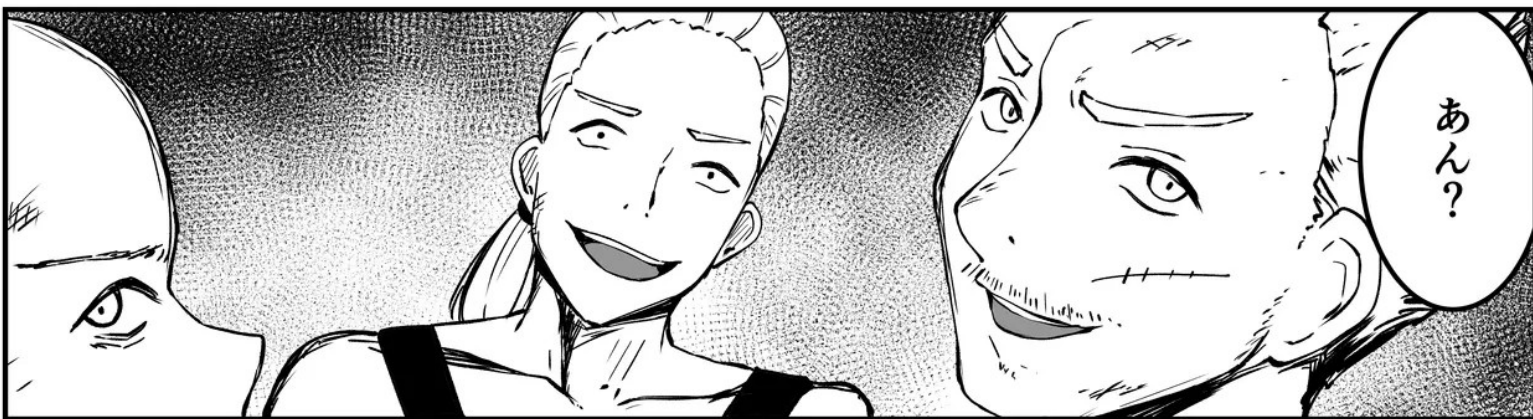
活動している時間は
意思の強さではねのける事が
可能だが――



睡眠中など意識の主導権を
握れない場合は



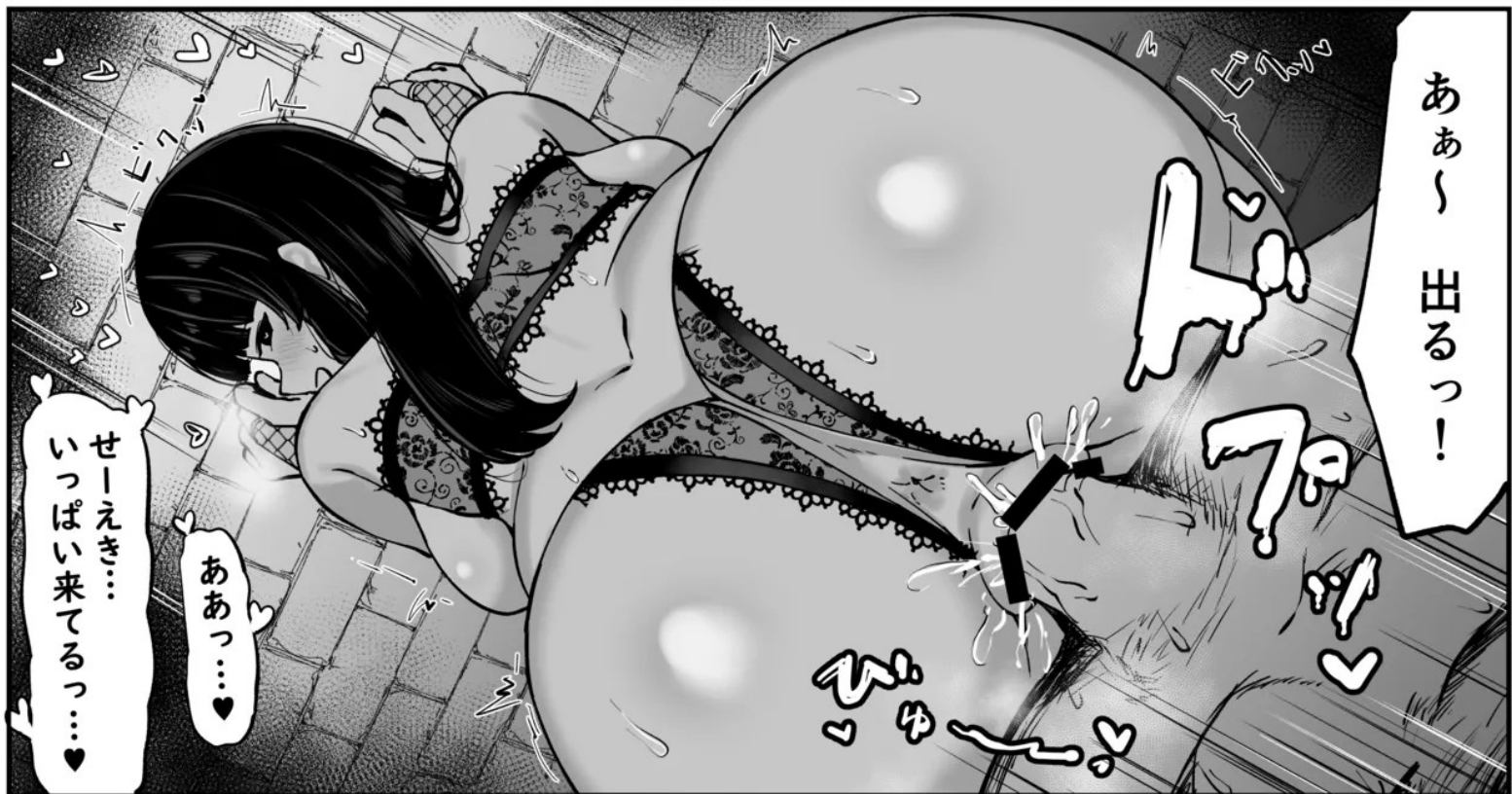
ほぼ無抵抗に身体と精神を
乗っ取られてしまうため
非常に危険である



逞しい皆さんの
精气…

どうか 卑しい私に
分けて下さいませんか…♡











よくやった

はー♡

はー♡



あ…無理だ…

こんなの…
もう勝てない…♡



私の…身も…
心も…っ

ぜんぶ…
捧げますっ…♡



お前の魔力と集めた精気を
存分に貰い受けた…

このまま私の
下僕となれ…

よく言つた

これからも
お前の望む快樂を
与えてやろう…

ああ… 自分よりも上位の存在に
支配されるのって…

こんなにも
心地よくて

幸せなんだ…♡

あ…ちっちゃい
スライム…

#3
スライムに取り込まれて
負けちゃうウィッチさん

魔力も全然吸えて
なさそうね…

あれで隠れている
つもりかしら…
はいはいね

スライムの魔力吸収…
あのヌルヌルがちょっと
癖になるのよね…

～かけ出しの頃の
思い出～

気付かないフリして
ちよつと遊んじゃおう
かしら…





ぬるぬるした体液でおっぱい
こねくり回されて…



コリッとした触角で乳首
しごかれてる…

すごく効率的に
魔力絞られちゃうっ…♡



吸われる魔力
丸見えなの
やばっ…

やっぱこれクセになりそう…♡

人間の指じゃできない
責め方されてる…

あ…そろそろでつかく
育ってきちゃったわね

これ以上は
マズいかな

悪いけどそろそろ
お別れよ

それじゃバイバ…

イっ!?

でも 童貞スライム君が
最期にイイ思ってきたでしょ



は...?
なにコレっ...!?

ボコ



やばっ 集中が...

魔法...詠唱...
できなっ...

いつの間に
こんなんでっかく...!

こいつの成長力を見誤った…っ！

この私が…
こんな辱めをっ…！

私のナカに…

入ってくるつもり…！？

待って…まさか…



宝箱だわ

ラッキーね♪

豪華な宝箱を
見つけた！

#4
エロトラップから抜け出せずに
負けちゃうウィッチさん

まずは
鑑定魔法っど…

うん

中身は
大丈夫そうね

ブーン

どれどれ…

ポッ

ぬっ



ペンダントが
『魔封じのネクタイ』
へ変化した！

なっ…!?

しまった…

宝箱は囿…!?

ケタ

ケタ

トラップマスターが
現れた！

厄介な相手だけど
戦闘力は低い…

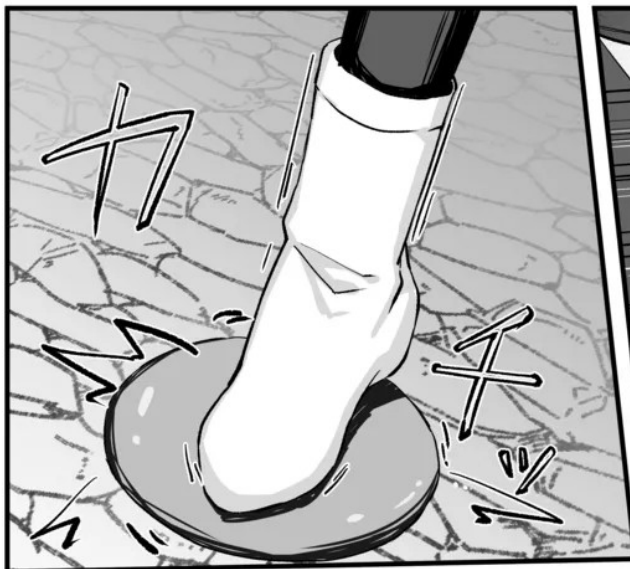
スツ…

肉弾戦なんて
趣味じゃないけど
仕方ないわね…！

トラップマスター…！

ムカツクね…

相変わらず姑息な手を
使うわね…！





ゴーストハンド
トラップだ！

なにこれ…
透明な手に
掴まれてっ…

くっ
振りほどけないっ…！

もに…

もに…

くっ…

ああっ…

こんな格好で
弄ばれるなんてっ…！

悔しいっ…！

もに

さっ…





こんなのシュミじゃないんだけどっ…



なっ!?

動き出してっ…



あああっ…!

三角木馬トラップだ!



身体力が抜けていくっ

このままじゃ私…
負けちゃうっ…!!

搾乳トラップだ！

またこんなヘンな
格好でっ…！

あああっ…♡

だめっ…

魔力出ちゃうっ…♡





こんな...

見ないでっ...

まるで...



やめて...



見ちゃだめえっ♡

牧場の牛みたいにおっぱい絞られる姿...



きつとこれから…
色んなおもちゃで
調教されちゃう

はーっ♡

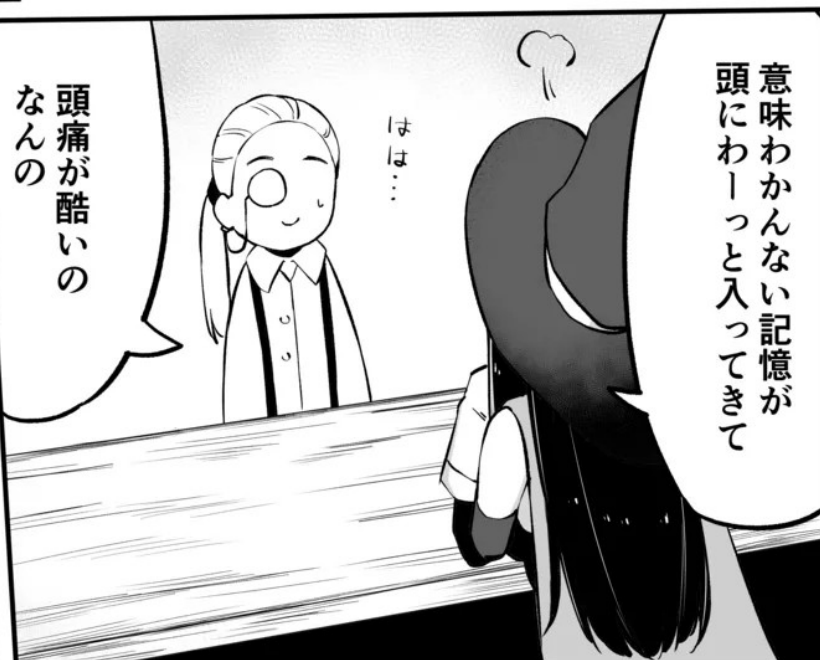
どく♡
どく♡

楽しみ…っ♡

楽しみ……♡

[illegible]

そして開発された強力なトラップが、
また新たな冒険者を捕獲する事となる



これは…
時空の欠片とでも
言うのかな

これだけでも
かなりの金額に
なりそうだね

もしタマゴを割らずに
持ち帰れていれば、
とんでもない価値になって
いたかも

それって…
具体的にどの位なのよ

うーん
王都に豪邸を建てて
一生遊んで暮らせる
金額かな

はあぁっ!?

~~~~~決めた

この手の依頼は  
次からアンタも  
連れて行くわ

ええっ

お宝見つけた  
その場で鑑定  
しなさいっ!

無茶言わないで!

鑑定スキル持ちの  
冒険者を雇って  
くれっ!!

中途半端にかじってる  
奴が一番信用ならない  
のよっ!

こうして実は世界を救っていた  
事に気付かず――

彼女はまた明日も  
ダンジョンに潜るのだった















トラップマスターに敗北したウィッチさん  
その後…

暗いダンジョンの奥、一人の冒険者が囚われていた。

トラップマスターに敗北し、様々なトラップの実験台にされた彼女からは、  
最強のウィッチと謳われた頃の面影はすっかり無くなっていった。

用済みとなった彼女は、恥ずかしい格好のまま放置され、  
為す術もなく力のない嬌声を上げ続けている。

もはや彼女に残された道は、望みの薄い救助を待ちながら  
ただただ無様な姿でイキ果てる事のみであった…



ズン  
ドキュ  
ド  
ズ  
ッ











## あとがき

本作品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

ウィッチさんシリーズは2作品目となりますが、今回も無事完成できたのも、日ごろから応援して下さる方々、そして本作を手にとって下さる方々のおかげです。

これからもたくさん作品を作っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

また次回の作品でお会いしましょう！

ぬまもち/おもちのもち屋